

# 学都たつのの輝きと歴史・文化が薫るまちを目指して

## プログラミング教育が始まります

小学校では2020年度から、中学校では2021年度から新しい学習指導要領がスタートします。小学校では、プログラミング教育が導入され、中学校では技術・家庭(技術分野)において、プログラミングに関する内容が充実されます。

プログラミング教育のねらいの1つとして、児童がプログラミングを体験しながら、身の回りの生活は、コンピュータ等の情報技術に支えられていることへの『気づき』とコンピュータ等を用いて身近な問題を解決しようとする『態度』を育むことがあげられます。

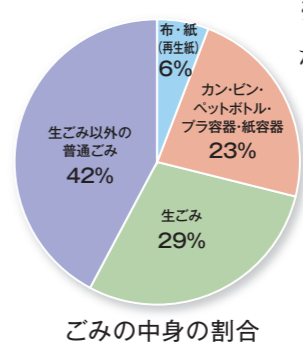
小学校におけるプログラミング教育は、さまざまな教科・学年・単元等に位置づけて学習を進めていきます。例えば、6年理科「発電と電気の利用」の学習では、人を感知するセンサーを用いた通電の制御等のプログラミング体験を通して、生活には電気を効率よく利用する工夫があることに気づいたり、さらに生活を便利にする方法を考えたりしていきます。

たつの市教育委員会では、円滑にプログラミング教育が実施できるように、教材の整備を行い、教員向け研修会を充実させていきます。

▶学校教育課 ☎64・3179



プログラミング授業の様子



**ごみの中身を調査しました**  
市では、ごみの基礎的なデータを集めるため、2月に市内のごみステーション(新宮地区除く)より無作為に抽出した普通ごみの中身の分析調査を実施しました。

調査の結果、普通ごみの中に約2割の資源ごみが混入されていることがわかりました。缶、ペットボトル、プラスチック容器等は資源です。分別することでリサイクル可能となり、新たな製品に生まれ変わります。分別表でごみの出し方を再確認しましょう。

布・古紙については、地域で実施している集団回収を利用してください。

また、普通ごみの約3割が生ごみで、生ごみは水分が多く焼却炉に負担がかかります。水切りをしっかりとしてから出しましょう。



ごみ袋(大)1袋に入っていた生ごみ



資源ごみの分別が未徹底!!

生ごみの中には、食べ残しや野菜の過剰除去が多く見られます。食事の作り過ぎをやめ、使いきるように工夫しましょう。残ったものはコンポストや生ごみ処理機で処理すると、堆肥として利用できます。

一人一人が分別を徹底すれば、市全体では大きな減量効果になります。ごみが減れば、ごみの収集、焼却等にかかる費用が大幅に削減できます。市では、ごみ減量講座や広報を通して「ごみの資源化・減量化」の呼びかけを行っています。ごみの正しい分別にご協力をお願いします。

▼環境課 ☎64・3150

## 人権文化の創造をめざして学ぼう人間の尊厳

174

### 「隣保館まつり」を通じた人権のまちづくり

総合隣保館と誉隣保館において「隣保館まつり」が開催され、多数の参加者が集い、大いに賑わいました。まつりの中には、作品展示や発表等を通して、広い世代の人々が、「であい・ふれあい・まなびあい」をテーマに、心温まる交流が行われました。



隣保館は、住民の交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、福祉の向上や人権啓発に係わる事業を行い、全ての人々の人権が尊重される豊かな社会の実現に向けた取り組みを進めています。隣保館まつりもその一つで、たつの市民主



化推進協議会が主催し、校区をあげて取り組んでいるもので、各種団体で組織される実行委員会では話し合いを重ね、数か月の準備期間を経

て開催されています。まさに隣保館を核として地域住民が「交流・協働」の中で互いを尊重し合い、地域が一体となって人権のまちづくりを推進する取り組みとなっています。

### 国際盲導犬の日

毎年、4月の最終水曜日(今年度は4月29日)を「国際盲導犬の日」として、世界各国で盲導犬や視覚障害への理解促進活動を行っています。

2016年4月1日に障害者差別解消法が施行されてから4年が経ちました。日本盲導犬協会では、盲導犬を使用している視覚障害者の協会ユーザー206人に聞き取り実態調査(2019年)を実施した結果、「盲導犬と一緒にいたり、視覚障害者だからという理由で、施設や店舗での受け入れ拒否にあってたりする事例が、6割もある」ことがわかりました。

誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向け、法の周知とともに、盲導犬や視覚障害への理解が必要とされています。

### 人権教育推進課

☎64・3182

## 169 消防最前線

### 一人暮らし高齢者宅防火訪問を実施しました

火気を取扱う機会が多くなる季節にあたり、住宅火災から尊い命を守ることを目的として、消防署・市役所・民生委員が協力して一人暮らし高齢者宅へ防火訪問を実施しました。

今年度は神岡地区が対象で、2月から3月上旬にかけて、各高齢者宅へ赴き、左記のチェックポイントをひとつひとつ確認していきました。

- ◆暖房器具(ストーブ)の上部に洗濯物を干していませんか
- ◆暖房器具(ストーブ)の周りに燃えやすいものを置いていませんか
- ◆暖房器具(ストーブ)を使用したまま給油していませんか
- ◆キッチン周りは整理整頓され、燃えやすい物を置いていませんか



◆換気扇やグレルの油污れを定期的に清掃しているか

◆電気機器・電気コードに差し込んでいないか

◆たこ足配線をしていないか

◆コードを束ねたまま使用していないか

◆喫煙

◆寝たばこをしていないか

◆灰皿に吸殻を溜めていないか

◆灰皿の周りは整理され、燃えやすい物を置いていないか

◆ろうそく立ては安定しているか

◆周りは整理整頓され、燃えやすい物を置いていないか

◆家具の固定等、地震に対する備えはできているか

◆危険物は適正容器で保管しているか

※今後もこの取り組みを継続し、火災・救急に関する声掛けから住みよい環境づくりを目指していきます。

### 西はりま消防組合たつの消防署 ☎63・3511

えする「出前講座」を実施しています。もしもの時に備えて、自分達で地域を守る方法を学んでみませんか?



消火栓取扱い訓練の様子

※出前講座のメニューは、市ホームページに掲載していますのでご確認ください。

※詳細は、たつの消防署又は、お近くの分署・出張所までお問い合わせください。

令和2年1月1日からの  
**市内の災害状況**  
(3月20日現在)

火災	5件
救急	789件
救助	15件

西はりま消防組合ホームページのご案内  
http://fd-nishiharima.jp/

災害情報案内(自動音声案内)  
☎0791・76・7150

休日・夜間病院案内(自動音声案内)  
☎0791・76・7160